



平成30年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月12日

上場会社名 メディアファイブ株式会社

上場取引所 福

コード番号 3824 URL <http://www.media5.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 英理也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 河野 活

TEL 092-762-0555

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	1,050	5.0	36	53.8	30	41.7	16	94.3
29年5月期第3四半期	1,000	6.4	23	△48.2	21	△52.8	8	△72.6

(注)包括利益 30年5月期第3四半期 28百万円 (96.9%) 29年5月期第3四半期 14百万円 (△64.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	19.43	18.61
29年5月期第3四半期	10.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第3四半期	570	423	74.2	490.30
29年5月期	606	403	66.6	467.49

(参考)自己資本 30年5月期第3四半期 423百万円 29年5月期 403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年5月期	—	0.00	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	2.9	50	12.2	39	18.2	17	24.6	19.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期3Q	909,600 株	29年5月期	909,600 株
② 期末自己株式数	30年5月期3Q	46,000 株	29年5月期	46,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期3Q	863,600 株	29年5月期3Q	863,600 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付書類】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融政策等の効果により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国政権の今後の動向や英国のEU離脱などによる景気への影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界では、IT関連投資は徐々に拡大傾向にあり、企業においては、容易に人材が採用出来なくなっていることによる人手不足感が広がっております。

このような環境の中、当社グループでは、中期経営計画で掲げております経営ビジョン「マルチスキルのITスペシャリスト集団への転換」を目指し、技術力の向上、ワークライフバランスの向上を図ることで、優秀な人材の囲い込みに注力いたしました。また、子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として、平成29年5月より「メディアファイブ保育園薬院」を開園し、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるソリューション事業B to Bソリューショングループ及びソリューション事業運用・サポートグループは、新規取引先及び既存取引先において、技術力に見合った契約単価交渉を行い一定の成果がみられました。しかしながら、企業における人材の採用が厳しい環境の中、当社においても採用活動に苦戦を強いられており、自社育成を行うことで、ITエンジニアの育成、採用に注力してまいりましたが、進捗が遅れております。

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、前連結会計年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

工事関連事業は、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事等を順調に受注しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,050,373千円（前年同四半期は1,000,501千円）、売上総利益396,493千円（同363,837千円）、営業利益36,436千円（同23,692千円）、経常利益30,518千円（同21,532千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益16,777千円（同8,632千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

①ソリューション事業B to Bソリューショングループ

ソリューション事業B to Bソリューショングループは、求人企業における人材の採用が厳しい環境の中、高度IT人材の育成、技術力向上に注力するとともに、技術に見合った契約単価交渉や戦略的な配置転換を行ってまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は671,274千円（前年同四半期は670,499千円）、セグメント利益は138,958千円（同128,099千円）となりました。

②ソリューション事業運用・サポートグループ

ソリューション事業運用・サポートグループは、東京地区を中心に、大規模な基幹システムの運用・サポート業務に従事しており、高スキルを背景とした高収益性グループの特色を出し、政策的に営業活動を行っております。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は209,714千円（同199,281千円）、セグメント利益は48,203千円（同41,817千円）となりました。

③ソリューション事業B to Cソリューショングループ

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、前連結会計年度に引き続き、安定的に中規模・小規模のシステム開発案件を受注しております。また、中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスは、取引社数・取引金額ともに増加しております。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は80,393千円（同71,986千円）、セグメント利益は17,225千円（同5,017千円）となりました。

④工事関連事業

工事関連事業は、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に事業を行っております。当第3四半期連結累計期間は、既存先への提案型営業を強化し、新規案件獲得の動きに注力いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は76,994千円（同41,904千円）、セグメント利益は7,290千円（前年同四半期はセグメント損失625千円）となりました。

⑤飲食事業

飲食事業は、スイス料理ハウゼの店舗運営に関する事業であります。当第3四半期連結累計期間における売上高は13,302千円（前年同四半期は17,084千円）、セグメント損失は4,161千円（同9,527千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

資産合計は570,956千円(前連結会計年度末は606,057千円)、うち流動資産403,971千円(同456,906千円)、固定資産166,984千円(同149,151千円)となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金181,072千円(同276,051千円)、売掛金178,222千円(同135,371千円)等です。固定資産については有形固定資産21,933千円(同41,703千円)、無形固定資産4,246千円(同2,095千円)、敷金及び保証金36,958千円(同36,286千円)等です。

(負債)

負債合計は147,534千円(同202,333千円)、うち流動負債は129,153千円(同188,653千円)、固定負債は18,380千円(同13,680千円)となりました。

その主な内訳は、流動負債については買掛金14,550千円(同9,416千円)、未払費用16,402千円(同103,948千円)等です。

(純資産)

純資産合計は423,421千円(同403,724千円)、うち株主資本374,729千円(同366,588千円)、その他の包括利益累計額48,692千円(同37,136千円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月14日に公表いたしました平成30年5月期通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	276,051	181,072
売掛金	135,371	178,222
仕掛品	1,988	4,639
原材料及び貯蔵品	1,124	1,175
未収還付法人税等	—	8,160
その他	45,721	33,643
貸倒引当金	△3,351	△2,941
流動資産合計	456,906	403,971
固定資産		
有形固定資産	41,703	21,933
無形固定資産	2,095	4,246
投資その他の資産		
敷金及び保証金	36,286	36,958
投資有価証券	55,620	71,800
従業員に対する長期貸付金	2,395	16,397
その他	11,050	15,648
投資その他の資産合計	105,353	140,804
固定資産合計	149,151	166,984
資産合計	606,057	570,956
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,416	14,550
1年内返済予定の長期借入金	7,316	1,500
未払費用	103,948	16,402
未払法人税等	7,469	1,541
未払消費税等	19,825	15,240
賞与引当金	—	35,995
その他	40,677	43,923
流動負債合計	188,653	129,153
固定負債		
繰延税金負債	13,680	18,380
固定負債合計	13,680	18,380
負債合計	202,333	147,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,825	179,825
資本剰余金	145,525	145,525
利益剰余金	50,061	58,202
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	366,588	374,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,136	48,692
その他の包括利益累計額合計	37,136	48,692
純資産合計	403,724	423,421
負債純資産合計	606,057	570,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	1,000,501	1,050,373
売上原価	636,664	653,879
売上総利益	363,837	396,493
販売費及び一般管理費	340,144	360,057
営業利益	23,692	36,436
営業外収益		
受取利息	0	317
保育事業収益	—	24,888
雑収入	400	55
受取配当金	—	300
その他	38	—
営業外収益合計	439	25,560
営業外費用		
支払利息	165	87
保育事業費用	2,405	31,379
雑損失	28	12
営業外費用合計	2,599	31,479
経常利益	21,532	30,518
特別利益		
助成金収入	—	17,115
特別利益合計	—	17,115
特別損失		
固定資産除却損	13	444
固定資産圧縮損	—	16,732
特別損失合計	13	17,176
税金等調整前四半期純利益	21,518	30,456
法人税、住民税及び事業税	801	893
法人税等調整額	12,084	12,785
法人税等合計	12,885	13,679
四半期純利益	8,632	16,777
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,632	16,777

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)
四半期純利益	8,632	16,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,757	11,556
その他の包括利益合計	5,757	11,556
四半期包括利益	14,390	28,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,390	28,333
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。